

焼たり
四中
学校より

みがきあう



20限目

2月
20日(金)



大人になっていく君たちへ…

こんなに
なってほしいな
その1

早いもので、もう2月はあと1週間です。3年生は2週間すると卒業式となります。3年生がこの汚い字を見るのもあと2回です。そこで、ある本にのっていたディズニーランドのスタッフのエピソードを紹介しますね。どんな大人になってどんな仕事をしていくのが、ひとつの参考になれば、と思います。

ある日、ディズニーランドのインフォメーションに、お母さんが「元気なさうにやってきました」と言いました。
『実は今日、子どもと一緒に来ました。子どもがミッキーちゃんだと、ミニちゃんだと、キャラクターにサインをしてほしいと言っていたので、サイン帳を持ててきました。子どもは、キャラクターを見つけたは一人一人にサインを書いてもらっていました。そしてあと少しでサイン帳が全部うまる、というところで、そのサイン帳を失くしてしまったんです。落とし物で届けられていないうか、と思って来てみたんですが、ありますか?』

そのインフォメーションには、サイン帳は届けられていませんでした。そこで、そのスタッフは13人を所に電話をしてみたのですが、どこにも届けられていなかったんです。そこで、そのスタッフは、サイン帳の特徴を詳しく聞いた後。

『いつまでご滞在されますか?』と聞いたそうです。その家族は、2日後のお昼には帰らなければならなかたそうです。スタッフは、それを聞くと、『それでは、この後、もう少し探しでみますので、2日後、お帰りになる前に、もう一度、こちらにお寄りいただけますか?』と言ったそうです。

そして、お母さんが帰られた後、そのスタッフは、さうに細かな部署に電話をかけて聞いたり、自分の足で駐車場や、心当たりのある場所を探し回ったそうです。ところが、どうしても見つかりませんでした。で、そのスタッフは、どうしたかといふと、**そのサイン帳と同じサイン帳を自分で買**て、**自分の足で13人を部署を回**って、キャラクターのサインを全部書いてもら、て、**当日を迎えた**そうです。

当日は、お父さんがやってきました。たぶん、ほとんどあきらめていたと思います。スタッフは、お父さんに言いました。『申し訳ございませんでした。サイン帳は見つけることができませんでした。でも、お客様、こちらのサイン帳をお持ち帰りください。』

お父さんが、ビックリして、中を見ると、キャラクターのサインが全部書いてあるではないですか?お父さんは、もちろん大喜びして『ありがとうございます!!』と、持て帰りました。

……で、この話はまだまだ続きます。後日、ディズニーランドに、そのお父さんが、一通の手紙が届きます。その内容とは…、長て入りきれないんで、次回で紹介します。



公衆電話機の撤去と設置について

先日、別紙で通知しましたが、公衆電話の設置基準に関する法令が廃止され利用額が少ないと本校の公衆電話は撤去されることになりました。しかし、電話がなくなると、困った部分も出てくるため、職員の特別会計簿から電話を購入して別のものを設置することにしました。ただ、カード式の電話は販売されていないため、10円か100円玉しか利用できません!そこで、来週からは、電話をかける場合は、10円か100円を準備しておいていただかなければなりません!100円からは、おつりが出来ないのでよろしくお願いします。

文献:「私が一番受けた11回目の授業」(西井和幸、比田井美恵著)

返信
よろしくお願い
します!

